

(6) 2016年(平成28年) 9月29日(木曜日)

オバマ大統領の8年に及ぶ政権もやがて幕を閉じます。膨大な国債を抱えたが、国民保険、福祉などに巨大な予算を投下、民衆に優しい政策を実施した。国債、企業、富裕層を財源とし一般民衆に充当した。この政策をヨーロッパの社会主義として政権発足の初期多くの反対があった。外交政策ではISISの問題やロシアのウクライナ侵入を他山の石のように『われ関せず』の姿勢に見えた。世界のリーダーとしての采配を多くの人々が期待したが、オバマ政権の評価は歴史に委ねるしかありません。

11月8日の大統領選は元国務長官のヒラリー・クリントンとドナルド・トランプ氏の対決になり

ます。民主党はクリントン女史をオバマ大統領の後継者のように擁護し、かたや、共和党は政治経験ゼロのトランプ氏を賛否両論の中で公認候補に指名しました。同氏は予備

したが、旧約聖書のイスラエルの王たちの歴史を学びながら、国の指導者の権威、権限とは何か、とふさわしい新大統領の誕生を祈りつつ考えさせられています。聖書は「す

南加キリスト教教会連合

国の指導者の権威・権限

前原 利夫

選で大物政治家をなぎ倒し党公認の大統領候補を獲得しました。今回の大統領選は初の女性大統領誕生か、ピジネスマン大統領誕生かで国民の関心は一段と高い。さて、前置きが長くなりま

統領の権限の下に私たちは従い、法律を守っていきます。法律を守る事は当然のようですが、権威のソースが人間かあるいは神様からかは大きな違いがあります。大統領の命令は神の権威からですから尊敬をもって従っていく良き市民でありたいと願います。もし、すべての権威が神からのものでしたら、その権威の質、内容が問われなければなりません。権威の質は神のご性質と同じでなければなりません。父が子供に授ける事は父の良い性質だと思えます。神のご性質は正義、公平、公正、愛、赦し、寛容、平和、福祉、繁栄などです。権威を実行する者はこの神のご性質を失ってはならないと

権威は神からのものではなく自分からでたことになりませんか。利己的な人間のなすことは安心できません。権威の実行者は神の代行者という大きな責任を担い、神のご性格の反映でありたいものです。旧約聖書のイスラエルの王たちの興亡を見るにつけ、権威の座にある者は側近のアドバイスを大事にするという点とです。人、頂点に達すると高慢、心に高ぶりの誘惑に負け、王座から転落するケースが往々にしてあります。昔の王たちの指南役は祭司や預言者でした。彼らは王が見ることのできないものをはっきりと見ることができたのです。新大統領は大統領顧問、補佐官など、それぞれの分野の専門家のアドバイスを謙虚に耳

を傾けてもらいたいものです。人は自分の後ろ影すら見ることができません。しかし、傍らの人はその影が誰の影であるか分かります。ところで、「神によらない権威はない」、この言葉は新約聖書のローマ人への手紙、2000年前の教えです。当時、まだキリスト教は国々のリーダーから迫害、反対された時代でした。にも拘らず、聖書は国のリーダーたちの権威が神様からくると大胆に教えたのです。2000年前の聖書の言葉が現在もお生き、脈打っているようです。国の為政者のために祈ろうではありませんか。(ゴスペル・ベンチャー・インターナショナル教会)